

平成29年度 福岡県認知症医療センター 直方中村病院 活動報告
民生委員制度創立100周年記念研修会

【開催日時】平成29年9月26日(火) 13:30~15:00

【開催場所】直方市中央公民館 大会議室(直方市津田町7-20)

【内 容】講義「高齢者等徘徊 SOS ネットワークについて」

講師：直方市地域包括支援センター 社会福祉士 村山 先生

講演「認知症医療センター・認知症初期集中支援チームの役割と活動について」

講師：福岡県認知症医療センター直方中村病院 精神保健福祉士 葉室

【主 催】直方市・宮若市・鞍手町・小竹町民生委員児童委員協議会

平成29年は、民生委員制度は創立100周年を迎えます。これを記念し、2市2町の民生委員・児童委員を対象に記念研修会を開催されました。この記念にある研修に講師依頼があり、お伺い致しました。参加者は150名と聞いております。

まず、「直鞍徘徊 SOS ネットワークの取り組みについて」の説明が有りました。昨今の認知症高齢者の行方不明についての話があり、続いて、徘徊が起きる前にできること、そして、SOS ネットワークについて登録や流れの説明が有りました。尚、「徘徊」という言葉は、制度上の言葉をそのまま使用しています。次に、「認知症医療センター・認知症初期集中支援チームの役割と活動について」では、新オレンジプランの内容について説明を行い、そして、認知症医療センター・認知症初期集中支援チームの役割等について、詳しく話をしました。最後は、地域での見守りについて、簡単にですが、ふれました。

研修会終了後に、ある民生委員から「認知症は、なかなか難しい課題だよね・・・」と地域での見守る立場での感想を聞きました。私も、その様に感じております。認知症に関する普及啓発のみを勧めていても課題解決には程遠く、地域住民の方も一緒に取り組む課題として、考えていかないといけないのでしょうか。

さいごに、ご参加いただいた方々には、お忙しいなか時間を調整していただきまして、感謝申し上げます。ありがとうございます。

(葉室)